

# 12 2015年度 団体 体

iwakura-shi siminkatsudou-joseikin  
2015nendo katuyoujissekihokokusyo  
12no dantai-ga samazamanajigyou-wo okonatta kirokudesu.

## 活用実績報告集

— 12の団体が行った事業の記録集 —

### はじめの 一歩コース

■ いいばらんす



### ステップ アップ コース

■ いわくら認知症ケアアドバイザー会



■ 「命の未来を想う」プロジェクト



■ いわくらフォークジャンボリー



■ 食と健康実践塾



■ コミュニティカフェかがよひ



■ いわくらシネマ



■ まちづくり百貨店



■ 岩倉生涯学習市民の会



■ 岩倉青年会議所



■ いわくら・ユニバーサルデザイン研究会



### イベント コース

■ 岩倉市子ども会連絡協議会



平成27年 **4月1日**



平成28年 **3月31日**

# 平成 27 年度市民活動助成金活用実績報告集もくじ

## 3. 岩倉市市民活動助成金とは

### (はじめの一步コース)

4. 「いわくらフリーストア」NPO 法人いばらんす

### (ステップアップコース)

5. 「岩倉市民とフォークソングを楽しむ事業」いわくらフォークジャンボリー
6. 「ケアドカフェ事業」いわくら認知症ケアアドバイザー会
7. 「市民の健康寿命の延長と未病対策をめざす食事作りの実践」食と健康実践塾
8. 「子育て世代に食の重要性を伝える事業」「命の未来を想う」プロジェクト
9. 「社会性芸術性の高い映画の上映会事業」いわくらシネマ
10. 「岩倉の魅力再発見！いわくら・まち・めぐり事業」まちづくり百貨店
11. 「世界の様々な音楽について知識を広め、  
演奏を聴くことにより世界の文化を理解するための事業」コミュニティカフェかがよひ
12. 「小学生写生大会～岩倉の桜ウォッチ！スケッチ！ワンタッチ！」 岩倉青年会議所
13. 「ユニバーサルデザインで、すべての人にやさしいまちづくり。」  
いわくら・ユニバーサルデザイン研究会
14. 「歌声喫茶で街を元気に」岩倉生涯学習市民の会

### (イベントコース)

15. 「岩倉市子ども会ニュースポーツまつり」岩倉市子ども会連絡協議会

## 16. 平成 28 年度の市民活動助成金活用団体及び活動内容紹介

## 17. 過去の市民活動助成金事業紹介

### 市民活動助成金についての問い合わせ先

岩倉市総務部協働推進課市民協働グループ（市役所 5 階）

Tel : (0587) 38-5803

e-mail : kyoudou@city.iwakura.lg.jp

### 市民活動助成金についての相談窓口

岩倉市市民活動支援センター 岩倉市昭和町二丁目 17 番地 市民プラザ内

Tel : (0587) 37-0257

e-mail : city-iwakuraplaza@city.iwakura.lg.jp

## 岩倉市市民活動助成金とは

地域が抱える諸課題の解決を図り、市民の福祉向上やまちづくりに貢献するなど、市民活動団体が主体的に取り組むモデル的な事業に対して財政支援を行い、団体活動の活性化や市民活動の拡充を図るものです。

応募された事業については、目的、事業内容などを公開の場で発表する「企画提案発表会」を経て、助成する団体と助成金の額を決定します。

## 助成の種類及び助成額

### 《ステップアップコース》

年間を通して計画的に事業が実施され、3年以上の継続した活動が実施される事業に対して助成します。

**補助期間**：1年ごと      **補助金額**：限度額15万円  
**補助率**：1回目 70%以内  
          2回目 50%以内  
          3回目 30%以内

### 《はじめの一步コース》

これから市民活動に携わりたい団体、設立から3年以内の団体の活動に対し助成します。

**補助期間**：1年      **補助金額**：限度額5万円      **補助率**：90%以内

### 《イベントコース》

対象年度内に実施する単年度計画のイベント等の活動に助成します。

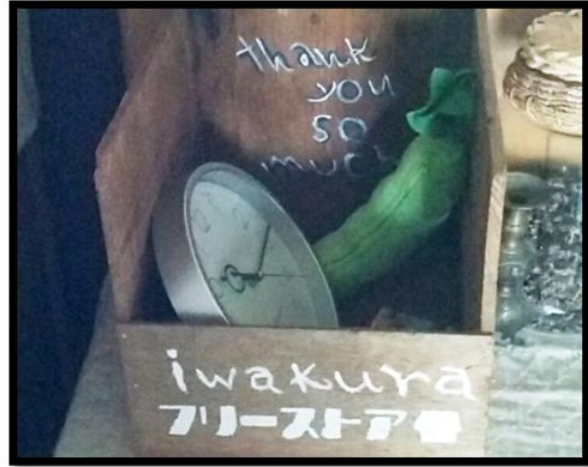
**補助期間**：1年      **補助金額**：限度額5万円      **補助率**：50%以内

- ※ 複数の団体と協働して行う場合には、どの部門も補助率を10%加算します。
- ※ 平成28年度の助成金対象事業は16ページに掲載されています。
- ※ 平成29年度の募集に関しては平成28年11月上旬に公表されます。

## 平成29年度市民活動助成金についての予定

平成28年10月初旬	：助成金説明会
平成28年11月中旬	：申請書類受付 <b>開始</b>
平成28年11月中旬	：市民活動助成金説明&相談会
平成28年12月中旬	：申請書類受付 <b>締切</b>
平成29年2月中旬	：企画提案発表会
平成29年3月初旬	：内定通知
平成29年4月1日以降	：決定通知、助成金事業開始

## いわくらフリーストア



事業総額 3,972 円 助成額 3,000 円

- ・主に陳列するための棚の材料費として活用

### ◆活動内容

- ・毎月第二日曜日 14:00 から、岩倉市下本町下市場 141 番地 1 の「NPO 法人いいばらんす」でフリーストアを開催。2 名～10 名参加。
- ・その場で、不要品の交換など話し合いを行う。
- ・いいばらんす以外にも、のらりでもフリーストア開催。

### ◆成果

- ・参加人数は拡がらなかったが、不要品の交換や話し合いを通して、資源の有効活用をするとともに、大量消費や使い捨てといった社会の課題を考える機会を提供できた。

### ◆工夫と課題

#### 課題

- ・参加者の周知が思い通りにいかず、利用者を増やせなかった。
- また、フリーストアを利用したい人の必要性を把握しきれていなかった。
- ニーズには波があり、支援する側と、困っている方々のマッチングがむずかしい。

#### 改善

- ・ニーズに合わせた活動をするべきである。ニーズを把握するための実態調査が必要であると感じた。

## 岩倉市民とフォークソングを楽しむ事業



**事業総額 59,887 円 助成額 39,000 円**

- ・主にメンバーTシャツ、練習会場代、機材購入費として利用

### ◆活動内容

- ・平成 27 年 8 月 30 日（日）市民プラザ多目的ホールにてサマーコンサートを実施  
参加人数約 150 名
- ・平成 28 年 2 月 28 日（日）市役所ミニステージにてロビーコンサートを実施  
参加人数約 70 名

### ◆成果

- ・いずれのコンサートも例年以上の参加者数となった。アンケートの結果を見ても好評で、参加者に楽しんでもらえるコンサートとなった。
- ・市外からの参加者や、いわくらフォークジャンボリーのコンサートに何度も来られている参加者も増えた。

### ◆工夫と課題

#### 工夫

- ・マルチケーブルなどの購入により、音響的にも良いコンサートが出来た。
- ・広報活動として、サマーコンサートではフリーペーパー（月刊トッピー）への掲載をして、ロビーコンサートでは近隣の市の施設にチラシを置いてもらった。

#### 課題

- ・近隣の市の施設へは 1 軒ずつ訪問しての直接交渉が手間がかかった。

#### 改善

- ・近隣施設には岩倉市から依頼で出来ないものか？
- ・北名古屋市東図書館、北名古屋市勤労会館、小牧市市民会館、一宮市民会館、江南市立図書館、ゆう友せいぶに置いてもらった。

## ケアドカフェ事業



**事業総額 353,447 円 助成額 140,000 円**

- ・主に講師謝礼、設備使用料、看板作成・設置、人件費として利用

### ◆活動内容

- ・毎週木曜日、昭和を楽しむ「ケアドカフェひろみ」(13:00-16:00) をオープン。
- ・しらゆり福祉会とコラボ。五条川桜まつりにあわせ、期間限定でオープンカフェ。
- ・地域サロンへ出張カフェ。

### ◆成果

- ・スタッフとして学生ボラを募ったことで、若い世代にも「認知症カフェ」の必要性を感じてまちづくりへの関心を高める機会となった。
- ・出張カフェでは寄り添って話をさせていただき、つながっていく手応えを感じた。
- ・一人暮らし同士の顔見知りが増え、誘いあって来店するようになった。
- ・常連さん同士でモノ作りやイベント参加するようになり行動範囲が広がってきた。
- ・施設利用の方の来店で、認知症当事者の悩みなど実情を広く知る機会になっている。
- ・小さなことでも相談窓口として利用くださる方が、増えてきた。

### ◆工夫と課題

苦勞と感謝

- ・オープンカフェは、好天&雨天で天国と地獄のような変化で対応に追われたが、さくらワークさんのご好意(部屋の開放)で乗り越えられた。

疑問

- ・「ケアドカフェ」活動を無理のない範囲でやっているがこのままでいいのか疑問もある。

改善

- ・各種イベントにおけるノウハウを身につける機会をもつ。
- ・ケアドカフェを周知・理解を得るため、「出張カフェ」先を探す。

## 市民の健康寿命の延長と未病対策をめざす食事作りの実践



**事業総額 687,509 円 助成額 150,000 円**

・主に講師謝礼、交通費、食材代、人件費として利用

### ◆活動内容

- ・家庭のバランス食基礎コース 月3回 10:00-15:00 4月-翌年3月の内9ヶ月開催。  
1週目朝食向き、2週目昼食向き、3週目夕食向きで定員15名目標に開催。
- ・体験試食会 火・水・木の昼食を治療養素を持ったバランス食を提供して体験学習を開催。

### ◆成果

- ・1回目は、名古屋、東京、三重方面からも参加があったが、徐々に定員割れとなり、4月からは連続受講者3~4名となり、市民参加は少なくなってきた。
- ・1回目は、夕食会も取り入れたが、市民の参加は急減し、グループ申込みが主流になった。例えば、市民活動グループ「大地の会（JA 農業者）」etc。

### ◆工夫と課題

苦勞及び対策

- ・PR紙の作成及び配布等。10月頃まで努力したが成果は薄く、周知のために市民活動グループ、特に市民活動支援センター主催事業には顔出しし、理解を広げる努力を現在も続けている。
- ・20~40才代の家庭人の参加を目標にしたが、昼間人口ではないため、次年度は夕食準備会を木・金の14:00~16:00に実施を目論んでいる。

今後について

- ・この一年ありがとうございました。ご支援を感謝しています。これにお応えするために若い人にはITを利用した、岩倉の大地町からお知らせする『五十嵐ばあちゃん「健康の素は食事だよ」』の試作発表を準備しています。
- ・本年栄養改善学会に地域興しの食バランス普及事業の実践をしたテーマで発表する予定。

## 子育て世代に食の重要性を伝える事業



事業総額 199,330 円 助成額 129,000 円

・主に講師謝礼、交通費、チラシ等印刷費、施設使用料として利用

### ◆活動内容

- ・栄養学講座「病気にならない体作り」（午前午後合わせ 100 名を超す参加者が聴講）
- ・講座参加者を中心に、より理解を深めるための交流会、復習会を行った。
- ・お料理会「やさしいおやつを一緒につくろう！」「野菜がおいしいお料理会」（小さなお子さまを連れての参加者が多く見られた。）

### ◆成果

- ・栄養学講座、2 度のお料理会ともに、定員いっぱいとなる反響があり、設けた機会を最大限に活かして、多くの方に食についてより深く知っていただくことが出来た。
- ・講座やお料理会の内容を日々の生活に落としこみ活かしているという連絡もある。
- ・子どもふが器を抱え込んで野菜料理を食べる姿に驚いた参加者が何名もあり、調理法一つで味が変わり、身体にも理になるということを体感していただけた。

### ◆工夫と課題

工夫

- ・この機会をより多くの人につかんでもらえるよう、広報、地域掲示板、商店への設置、学校配布など、広くご協力いただいた上、SNS での発信も功を成した。結果として、老若男女幅広い世代に聴いていただくことができた。
- ・お料理会の食材は地域の商店で揃えることを意識している。身近なところで入手できるもので健やかな食生活をしていくことができるということをアピールしている。また、交流の場を設けたことで参加者がそれぞれ各自でつながりを広げていった。
- ・食に関心をもつ人がとても多いことがわかったが、溢れる情報の中でどの情報を選びとっていけばいいのかわからないという人が多い様子。植物や生物の生態を知っていくことが、自分自身で判断ができる感性を養うことにつながる。今後は、栽培実習も取り入れていく。



## 社会性芸術性の高い映画の上映会事業



**事業総額 163,935 円 助成額 31,000 円**

・主に放映権使用料、チラシ等印刷費、施設使用料として利用

### ◆活動内容

- ・年間 4 回の上映会を開催することができた。(お話し会は会員含む)
- 第 1 回 6 月 28 日(日)「DON' T BURN」参加者 15 名 お話し会 8 名
- 第 2 回 9 月 13 日(日)「神さまがくれた娘」参加者 17 名 お話し会 10 名
- 第 3 回 1 月 31 日(日)「かみさまとのやくそく」参加者 83 名 お話し会 21 名
- 第 4 回 3 月 13 日(日)「パパ、遺伝子組み換えって なぁに？」参加者 25 名 お話し会 11 名

### ◆成果

- ・映画により参加者数に大きな差が見られたが、見ていただいた方には満足していただけた様子である。社会的意義のあるテーマを投げかけることにより、市民の意識に一石を投じることができた。また、上映後のお話し会では、新たなメンバーも問題提起されたことに熱心に参加した。

### ◆工夫と課題

苦勞

- ・中心メンバーの一人が転出、一人が個人的な事情により活動できず人手不足。
- ・人手不足により広報活動が十分にできなかったことも否めない。

課題と対策

- ・2016 年に入り、新しいメンバーが増えたり、退職により自由時間ができたメンバーがいるので、来年も活動できそうであるが、継続的な新メンバーの開拓が必要である。
- ・市の広報やかかわらばんを有効に活用していきたい。

## 岩倉の魅力再発見！「いわくら・まち・めぐり」事業



**事業総額 403,408 円 助成額 105,000 円**

・主にチラシデザイン費、チラシ・ポスター印刷費、イベント会場費として利用

### ◆活動内容

- ・スタンプラリーやイベントを各地で開催することで、岩倉のいいところの再発見をする事業を開催。
- ・4月「いわくら・ひと・さくら・まつり」の開催：主な事業「市民街頭パフォーマンス【リファイン岩倉】」「雅楽～平成のオーケストラ【神明太一社】」「スタンプ集めておかしをゲット！【岩倉市の商店】」「タコ入り「いーにゃボール」の販売」「コスプレフェスタ」など
- ・10月「いわくら・ひと・かぼちゃ・まつり」開催（岩倉版ハロウィン）：主な事業「百の市」「合言葉でお菓子ゲット【対象：市内事業所】」「ハロウィンお楽しみ会【市民プラザ多目的ホール】」を開催。

### ◆成果

- 4月：27店舗参加。「街頭パフォーマンス出演6組来場者のべ200名」「雅楽～平成のオーケストラ：来場者数200名」「スタンプラリー回遊数のべ50人」「いーにゃボール：売上114,600円」「コスプレフェスタのべ40名」。期間中は雨天が多く殆どのイベントの来場者は少なくまちめぐりの参加者も多くなかった。
- 10月：20店舗参加。「スタンプラリーのべ200人」「ハロウィンお楽しみ会60組200名」  
ハロウィンお楽しみ会に参加するために、たくさんの親子がスタンプ集めに岩倉のまちをめぐり、岩倉のまちを知るいい機会になったと感じました。

### ◆工夫と課題

- ・桜まつり会場を起点にまちづくりをしてもらおうと企画したが、雨天のため来場者そのものが少なく苦労した。スタンプを遠くのお店まで集めてもらうための工夫をした。
- ・秋は、ハロウィンイベントの内容を盛りだくさんにして最終日に持っていくことで多くの親子連れに参加してもらえた。
- ・百の市は、お店に行きやすくするために行なっているが、思ったほど効果はないようだ。
- ・桜まつりでのおし物を新規メンバーからのアイデアを元に練り直す。
- ・スタンプラリーは、集めた数により何か特典があるというやり方が良いかもしれない。
- ・百の市は根本的に考えなおす必要がある。

### 世界のさまざまな音楽について知識を広め、演奏を聴くことにより世界の文化を理解するための事業



事業総額 60,866 円 助成額 18,000 円

・主に講師謝礼、イベント広告料として利用

#### ◆活動内容

- ・民族音楽レクチャー&ライブ・会場コミュニティカフェかがよひ
- 11月1日(日)南米のハープ「アルパ」 奏者：牧野将典、レクチャー：加藤政雄、参加者 18 名
- 1月24日(日)津軽三味線 奏者：田中隆史、レクチャー：加藤政雄、参加者 17 名

#### ◆成果

- ・受講者数は、予定より少なかったが参加者の熱心な姿勢により、これまでより深く音楽を楽しんでもらうことができました。なかなか普段聞く機会のない民族音楽の生演奏に触れ、異文化に親しみ理解が深まりました。岩倉市内には外国人も多く、このイベントは異文化、多文化の理解につながるものだと実感しました。参加者からも好評でしたので今後も活動を継続していきたいと思えます。

#### ◆工夫と課題

##### 感想

- ・レクチャー、演奏の内容については、大変満足がいく内容でした。

##### 苦勞・工夫

- ・岩倉市広報の締め切りに間に合わないことがあり、宣伝には苦勞したが、一方フェイスブックの広告などネット上の宣伝、拡散に努力した。

##### 課題

- ・スケジュールを管理する能力に長けた人がメンバーにほしい。あるいは育てたい。あるいは育ててほしい。

## 小学生写生大会～岩倉の桜ウォッチ！スケッチ！ワンタッチ！



**事業総額 81,665 円 助成額 32,000 円**

- ・主に画用紙等画材代、チラシ・ポスター印刷費、イベント会場費として利用

### ◆活動内容

- ・岩倉市内の全小学生を対象に岩倉の宝である桜並木と五条川を題材とした絵を描いてもらい、その中から 20 点入選作品を選び、生涯学習センターと各小学校に展示をして、表彰する。
- ・大会当日、桜の花の手形を 1 人ずつ押してもらい、1 枚絵を完成させる。

### ◆成果

- ・事業申込者数 262 名、当日提出者 182 名、入選作品 20 点の展示と表彰。
- ・桜の花の手形による 1 枚絵の完成。
- ・さくらクイズの実施&解説により、桜並木保全の必要性を伝授。

### ◆工夫と課題

#### 工夫

- ・例年行っている写生大会に加えて、桜の花の手形による 1 枚絵と、桜の保全の必要性が分かるように絵とクイズ形式で行いました。
- ・入選作品の展示については、今年はじめて各小学校でも行った。

#### 改善

- ・写生大会に参加する小学生をさらに増やすため、この事業の継続はもちろんのこと、小学生と現場の教員方への認知向上を入選作品の各小学校への展示の継続と作品の絵入りの表彰状を作成し、全校生徒の前で盛大に表彰してもらうことで図っていきたいです。

## ユニバーサルデザインで、すべての人にやさしいまちづくり。



事業総額 319,577 円 助成額 150,000 円

・主に講師謝礼・出演料、交通費、チラシ・ポスター印刷費、イベント会場費として利用

### ◆活動内容

- ①市内全小・中学校でユニバーサルデザイン講座の開催
- ②UD 作品コンクールの実施
- ③車いすマークの駐車場をみんなに知ってもらうキャンペーンの開催
- ④UD 講演会及びトークショーとコンサートの開催  
・UD 研究会顧問の児玉教授の講演、そしてコンサート団員・音訳の会あめんぼ代表・UD 研究会代表の3名によるそれぞれの立場からできる事を話し合い、障害のあるなしに関係なく、みんながいきいきと活動できるまちを目指そうと結んだ。コンサートは視覚障害者による楽団「アンサンブル・アミー」による演奏で障害のあるなしに関係なくそれぞれが努力する姿が素晴らしいことを感じてもらえた。

### ◆成果

- ①小中学校では、どうすればすべての人が住みやすいまちになるのかを一人ひとりに感じてもらった。
- ②UD 作品コンクールは、UD 講座等の後に募集したので、学んだことの振り返りの意味でも良かった。
- ③まわりにはいろいろな人がいるので思いやりの心が大切さだと感じてもらった。
- ④さまざまな人に関わってもらうことで多くの方の共感を得られたと思う。他市町からも参加者とUDの講座等の情報交換につながった。市職員も多く参加し理解を得てもらえたので今後の市民の対応に役立つと思う。

### ◆工夫と課題

- ①講座時間が少ない学校には1週間前からUDグッズを持ち込み充分体験してもらった。  
市中心部から遠い学校には電車を利用してもらった。  
雨天で傘をさしての移動が大変だったので次年度からは予備日を設けるなどしたい。
- ②昨年までの標語に加えてイラスト・文章も対象としたことで、さまざまな発想がでてきた。  
審査に時間がかかるようになったため募集時期を早める。
- ③一般の方の体験が少なかったが、協力者の方には体験してもらうことでデモンストレーションとして見てもらったので効果があった。  
事業者と協働で行うことで、さらに多くの方に伝えていけるようにしたい。展示を同時開催することで具体的にUDについて知ってもらえるので検討していきたい。
- ④年度初めということもあり場所の確保に苦労した。準備が大変だったが、協力団体を多数にしたことでみんなで作りに上げることができた。

大きなイベントの場合は、前年度から予算を組み活動を早くから開始できるよう考えていく。  
協力団体との連絡調整が大変だったので、実行委員会形式での開催を考えていきたい。

## 歌声喫茶で街を元気に



**事業総額 294,695 円 助成額 48,000 円**

・主に演奏者謝礼、チラシ・ポスターデザイン及び印刷費、通信費、イベント会場費として

### ◆活動内容

- ・5/2・9/12・1/16・3/17 の計 4 回開催、のべ 287 名が参加。内、独居老人の無料招待者 44 名が来場。

### ◆成果

- ・のべ参加人員 287 名(内無料 44 名)、昨年度より開催を 1 回増やし参加人員が 60 名増となった。
- ・3/17 は初めての喫茶店での開催。平日であったが 60 名近い参加があり、これまでの場所とは異なり和気あいの雰囲気で開催できた。
- ・2012/1 月から 11 回開催で、のべ 800 名、60 代・70 代の世代が 8 割参加。
- ・第 10 回の開催に際し、参加費、お茶お菓子の提供についてアンケートを取る。参加費は 600 円・お茶お菓子は無くても良いとの結果であった。今後の開催には可能な限りこの結果に応じていくこととしたい。
- ・オカリナイぶきの会・岩倉ハーモニカクラブとの共演も実現、これからも多くの団体との交流の場として、この歌声喫茶が活用できたら良いと思う。

### ◆工夫と課題

#### 課題

- ・交流の場づくりとして、この歌声喫茶は定着しつつある。リピーター率 67%、今まで知らなかった同士の交流は間違いなく進んでいる。こうした取り組みも資金不足が課題。支援団体へのアプローチに取り組んでいるがなかなか良い結果が得られなく苦しんでいる。今年も 4 団体に申請したのだが、市としても市民助成で芽生えた事業を無くすことなく恒久的な支援制度をつくるべきと考えます。

岩倉市子ども会連絡協議会 50 周年事業

## 岩倉市子ども会ニュースポーツまつり



事業総額 434,481 円 助成額 50,000 円

・主に協力謝礼、チラシ・ポスター印刷費、郵送料、イベント会場費として利用

### ◆活動内容

- ・50周年記念事業として、ニュースポーツの体験及びチャンピオン決定戦、みんなであそぼう、クリスマスパーティー&表彰式、しるこの振る舞い、鬼まんじゅうの振る舞い等を行なった。ニュースポーツはカローリング、ダーツ、ストラックアウト、輪投げ、パターゴルフ、キンボールを行なった。みんなであそぼうは、岩倉かるた、武将隊と綱引き、ドッチビー等行なった。しるこ、鬼まんじゅうは1,000人前ほど振る舞う。

### ◆成果

- ・午前、午後で児童・保護者・ボランティア等、のべ1,000名ほどの参加がありました。申込みが少ない場合、一般からも募集を考えていたが、子ども会会員のみで一杯となった。ニュースポーツに関してはだれもが楽しめるをコンセプトに、老人クラブ、中学生等がゲームコーナーを担当して多世代の交流も生まれた。子ども会の事業らしく、1年生から6年生まで楽しめる事業に出来た。特にクリスマスパーティーでの合唱は会場一体となり一生の思い出に残るクリスマスパーティーとなった。

### ◆工夫と課題

工夫と苦労

- ・子ども会と地域で活動する団体との接点をつくるために、中学生、OYGクラブ、太鼓友の会、岩倉武将隊、老人クラブ連合会、過去の理事等に協力依頼をかけて、役割を分担して開催しました。連絡調整等苦労しましたが、みなさん素晴らしい活躍で大成功のうちに終了しました。クリスマスパーティーにはプロの演奏家に依頼したため見事な盛り上げを見せてもらえました。
- ・市子連内部でも役割分担をしたが、連絡調整がうまくいかない部分もあった。
- ・緊密な連絡が必要。準備期間が短かったので、もう2ヶ月早く始動していれば無理なく進められたと感じる。

# 平成 28 年度

## 市民活動助成金活用団体及び活動内容紹介

地域の社会的課題解決や、明るいまちづくりのために  
市民活動助成金を活用している事業の紹介です。

### 【はじめの一步コース】 団体立ち上げから 3 年以内の団体対象

ゼロから始める防災対策	いわくら 地震防災勉強会	総事業費 11,620 円、申請額 10,000 円 「巨大地震への備え」等の勉強会を通して、市民に対して地震防災の必要性を啓発するとともに市民のネットワークを形成し自助・共助力を高める。
子育て世帯の母親による 楽器演奏事業	おこまま	総事業費 68,800 円、申請額 50,000 円 児童館やデイサービスなどで楽器の演奏をすることで子育て世代の交流を深める。
子ども・若者支援のネット ワークづくり	子ども・若者支援 をつなぐ会	総事業費 52,020 円、申請額 50,000 円 講演会や学習会を通じて、子ども・若者支援のネットワークを構築する。 (協働先：NPO 法人ふくクル (旧団体名「IRC ジャパン」))

### 【ステップアップコース】 年間を通して計画的に実施され、3 年以上継続した活動が実施される事業が対象(3 回まで)

昔なつかしい映画をみよう！ [1 回目 / 3 回]	岩倉生涯学習 市民の会	総事業費 175,000 円、申請額 108,000 円 高齢者の閉じこもり防止や住民同士の交流の場づくりのため、年 4 回、昭和 10～30 年代の日本映画の上映会と懇談会を開催する。
岩倉市における児童虐待 防止啓発活動・啓発グッズ 作成 [1 回目 / 3 回]	こどもハート クラブ岩倉支部	総事業費 421,000 円、申請額 150,000 円 子育てに悩む家庭や虐待問題を抱える市民のために、「フォーラム開催」や「啓発グッズの配布」を行う事で、児童虐待防止啓発活動を行う。
子育て世代に食の重要性 を訴える事業 [2 回目 / 3 回]	「命の未来を想う」 プロジェクト	総事業費 271,200 円、申請額 150,000 円 家庭菜園体験講座やミニコミ誌を作成することで、次世代を担う子どもたちが、環境物質などに影響されずに食生活を送るための事業を展開する。(協働先：食と健康実践塾)
慰問活動で岩倉市内の利 用者を元気にする事業 [2 回目 / 3 回]	あじさい会	総事業費 19,700 円、申請額 9,000 円 市内の病院やデイサービス施設に出向き、民謡やフラダンス、マジックショーを披露したり歌やお手玉遊びを一緒に楽しんだりするなど、患者や利用者を元気づけるための慰問活動を行う。
市民の健康寿命の延長と 未病対策をめざす食事作 りの実践[2 回目 / 3 回]	食と健康実践塾	総事業費 1,056,000 円、申請額 150,000 円 ヘルシーダイエット夕食準備教室等を開催することで、栄養バランスの取れた食生活の実践を促進する。それにより、生活習慣病やアレルギーを減少させ、市民の健康寿命の延長と未病対策を目指す。
世界のさまざまな音楽に ついて知識を広め、演奏を 聴くことにより世界の文 化を理解するための事業 [3 回目 / 3 回]	コミュニティ カフェかがよび	総事業費 211,300 円、申請額 49,000 円 世界の音楽に関するレクチャー・演奏会・ワークショップを実施することで、異文化や伝統音楽に親しみを持ち、世界の幅広い文化について理解を深める。
岩倉の魅力再発見！「いわ くら・まち・めぐり」事業 [3 回目 / 3 回]	まちづくり百貨店	総事業費 298,000 円、申請額 89,000 円 市民・事業主・団体による、岩倉の史跡、産業、商業、農業の魅力をめぐるスタンプラリーを春秋に開催することでまちの活性化を図る。
小学生写生大会 ～桜で 岩倉を咲かせよう～ [3 回目 / 3 回]	岩倉青年会議所	総事業費 100,000 円、申請額 24,000 円 岩倉の宝である桜並木の大切さを児童たちと一緒に考え、愛着と誇りを持ってもらうための写生大会等を開催する。
ユニバーサルデザインで、 すべての人にやさしいま ちづくり。[3 回目 / 3 回]	いわくら・ ユニバーサル デザイン研究会	総事業費 154,670 円、申請額 46,000 円 小中学校での講座や、市民に向けた啓発運動を行う事で、ユニバーサル・デザインを普及させ、互いを思いやり、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指す。



# 過去の市民活動助成金事業紹介

## 平成 24 年度市民活動助成金活用団体及び活動内容紹介

◇はじめの一步コース（これから市民活動に携わりたい団体、設立から3年以内の団体の活動）	
団体名	事業名
岩倉生涯学習市民の会	夢をすてない 青春時代へタイムスリップ 歌声喫茶 IWAKURA
NPO 法人 IRC ジャパン	アーツスペースふう
ひと・さくら・まちづくり	これから始めるランニング
やんちゃね★	やんちゃね★ライブ配信
◇ステップアップコース（年間を通して計画的に事業が実施され、3年以上の継続した活動が実施される事業）	
団体名	事業名
岩倉鳴子おどりの会 五条川桜	にっぽんど真ん中まつり参加
わくわく会	生ごみ堆肥利用による花苗
いわくら OYG クラブ	OYG 年末もちつき交流会

## 平成 25 年度市民活動助成金活用団体及び活動内容紹介

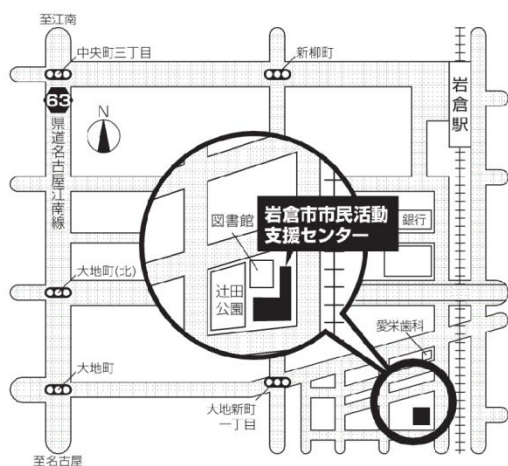
◇はじめの一步コース（これから市民活動に携わりたい団体、設立から3年以内の団体の活動）	
団体名	事業名
子ども発達支援サークル大きな木	発達障がいの理解を深める事業
◇ステップアップコース（年間を通して計画的に事業が実施され、3年以上の継続した活動が実施される事業）	
団体名	事業名
岩倉鳴子おどりの会 五条川桜	鳴子おどりで元気にまちおこし事業
わくわく会	生ごみ堆肥利用による花苗作りと花街道整備
岩倉生涯学習市民の会	歌声喫茶で街を元気に
やんちゃね★	インターネット放送やんちゃね★
ひと・さくら・まちづくり	あいさつランニング事業～健康づくりとまちづくり～
いわくら OYG クラブ	日本の伝統・文化・継承事業

## 平成 26 年度市民活動助成金活用団体及び活動内容紹介

◇はじめの一步コース（これから市民活動に携わりたい団体、設立から3年以内の団体の活動）	
団体名	事業名
オクトバス合奏団	アート&エンタメ情報発信事業
市民シネマの会	社会性芸術性の高い映画の上映会事業
◇ステップアップコース（年間を通して計画的に事業が実施され、3年以上の継続した活動が実施される事業）	
団体名	事業名
岩倉青年会議所	小学生写生大会～岩倉大好き！描こう地域の宝～
コミュニティカフェかがよひ	世界のさまざまな音楽について知識を広め、演奏を聴くことにより世界の文化を理解するための事業 世界の文化を理解するための事業
いわくら・ひと・さくら・まつり 実行委員会	岩倉の魅力再発見！「いわくら・まちめぐり」事業
岩倉鳴子おどりの会 五条川桜	鳴子おどりで元気にまちおこし事業
わくわく会	生ごみ堆肥利用による花苗作りと花街道整備
あじさい会	慰問活動で岩倉市内の利用者を元気にする事業
あすなる太鼓・輝星	和太鼓を楽しみ、まわりの人と交流し、つながりを広げていく事業
岩倉生涯学習市民の会	歌声喫茶で街を元気に
理科サークル ユリイカ	いわくらサイエンスクラブ
ひと・さくら・まちづくり	～キレイがい～わ！～「い～わくんエコカード」プロジェクト
いわくら・ユニバーサルデザイン 研究会	ユニバーサルデザイン（UD）で、すべての人にやさしいまちづくり
いわくら OYG クラブ	岩倉親子餅つき大会



## 岩倉市市民活動支援センター



- 住 所 / 〒482-0011 岩倉市昭和町二丁目17番地
- TEL・FAX / (0587) 37-0257
- 開館時間 / 9:00-21:30      ■ 休館日 / 年末年始
- メールアドレス city-iwakuraplaza@city.iwakura.lg.jp
- ホームページ <http://www.iwakura-plaza.jp/shimin/>

下記の市民活動支援センターのブログにリンクしています

- 市民活動支援センターNEWS
- 岩倉の市民活動団体
- ムービーいわくら
- 岩倉インフォメーション

メールマガジン登録はコチラから [iwakura\\_ad@lww.ne.jp](mailto:iwakura_ad@lww.ne.jp)

**facebook** 岩倉市市民活動支援センター

**twitter** @IwakuraCSC

インターネット   で検索してください

